

倶多楽の火山活動解説資料（平成28年1月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1、図4-①）

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震及び微動の発生状況（図2～3、図4-②）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

なお、2月4日（期間外）18時06分頃、日和山の西側約2km付近でM2.5の地震が発生し、その後一時的に地震が増加しましたが、その他の観測データに特段の変化はありませんでした。

・ 地殻変動の状況（図4-③）

GNSS連続観測¹⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図1 倶多楽 南南西側から見た日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況
（1月3日、414m山遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号 平26情使、第578号)。

次回の火山活動解説資料（平成28年2月分）は平成28年3月8日に発表する予定です。

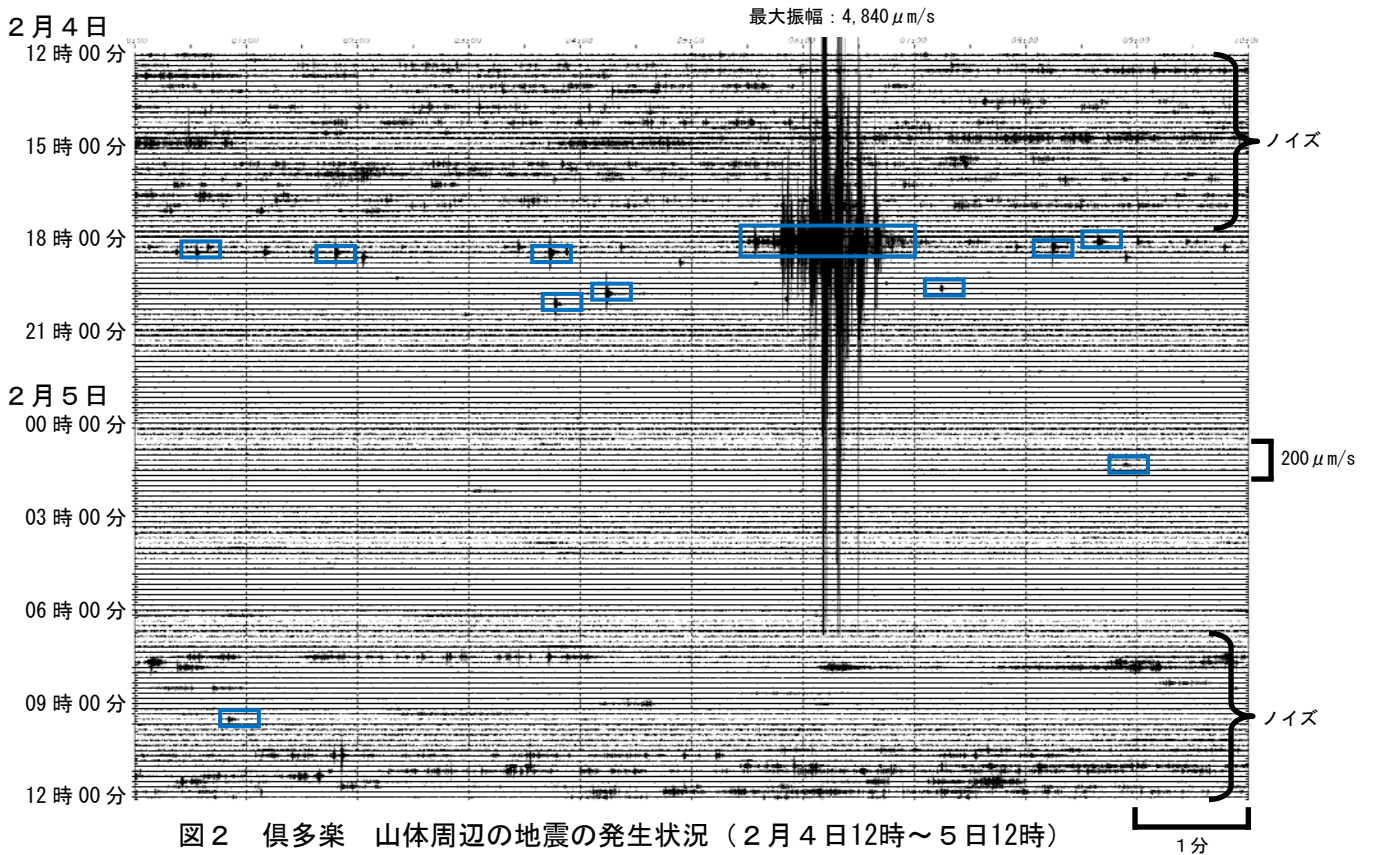


図2 倶多楽 山体周辺の地震の発生状況 (2月4日12時~5日12時)
 ・大正地獄(北海道大学)の上下速度波形
 地震回数: 4日47回、5日6回
 ・主な地震を青四角で示します

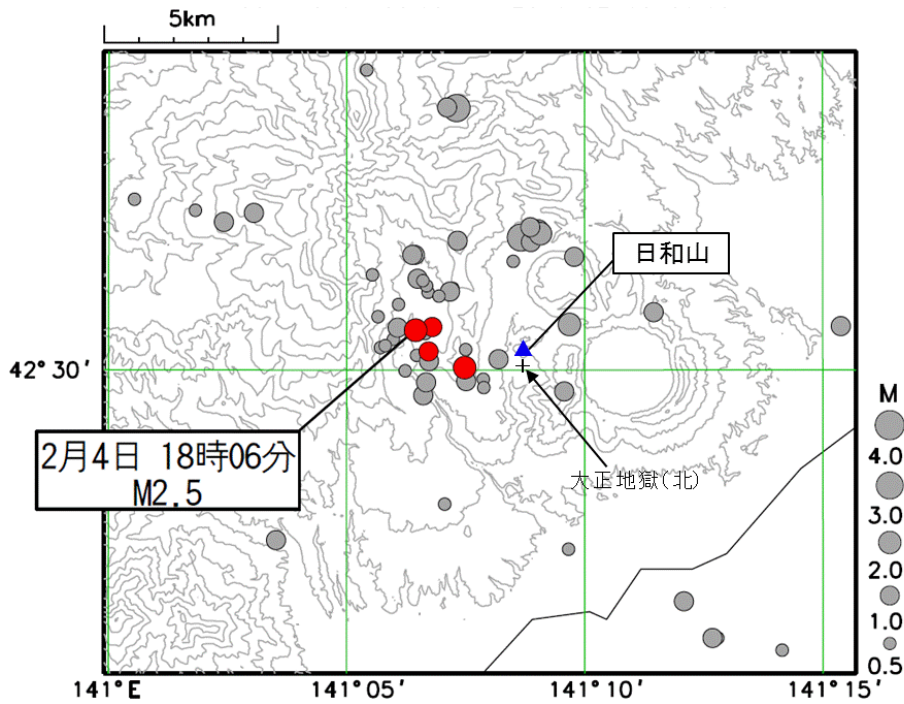


図3 倶多楽 広域地震観測網による山体周辺の地震活動
 (1997年10月1日~2016年2月4日、 $M \geq 0.5$ 、深さ30km以浅)
 ・2月に発生した地震を赤いシンボルで表示しています

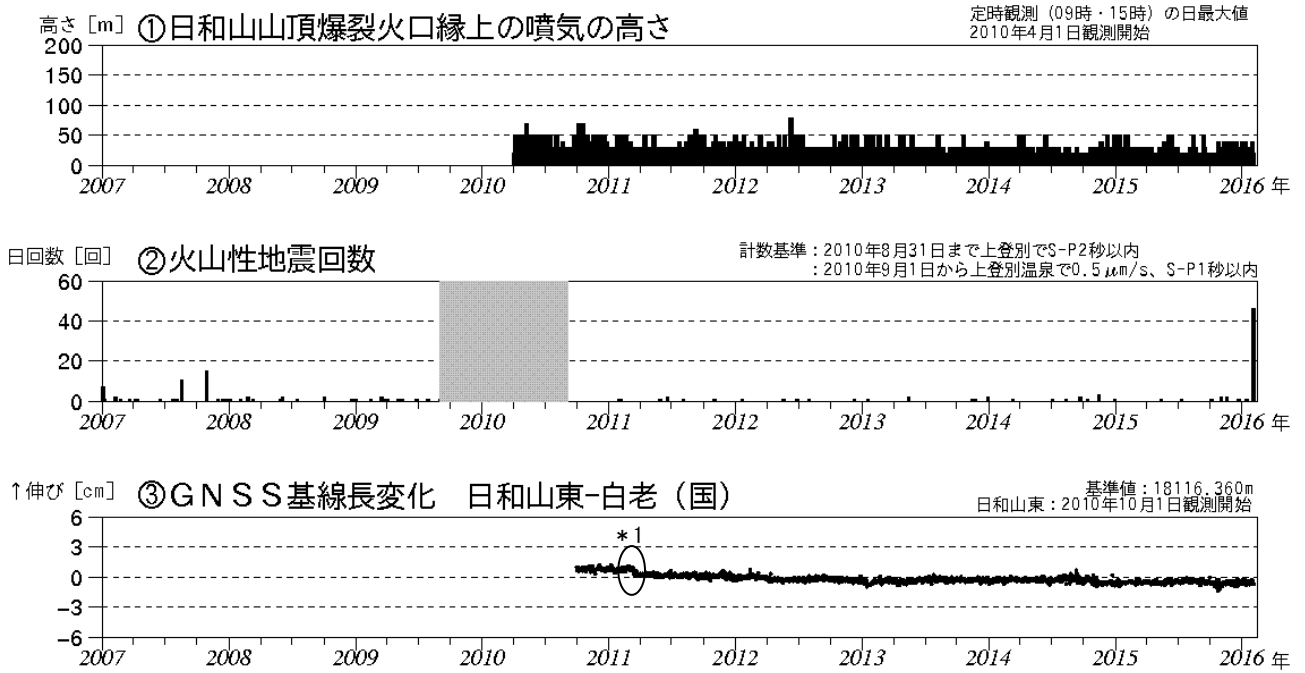


図 4 倶多楽 火山活動経過図（2007年 1 月～2016年 2 月 4 日）

- ・ ②の灰色の期間は機器障害による欠測を示します
- ・ ③のGNSS基線は右配置図の基線に対応しています
- ・ (国)：国土地理院
- * 1：楕円内の変動は、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響によるものであり、火山活動によるものではありません

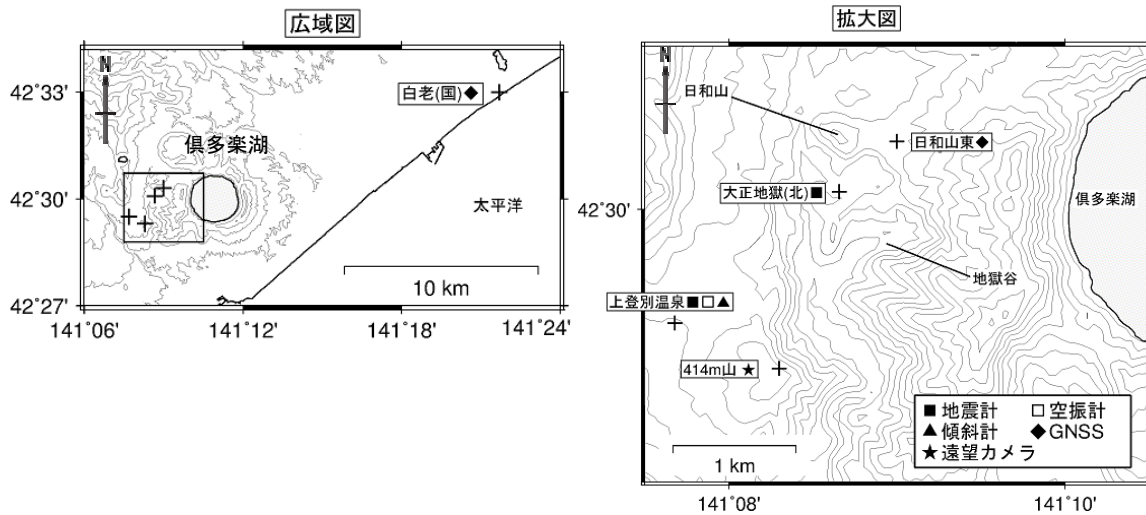
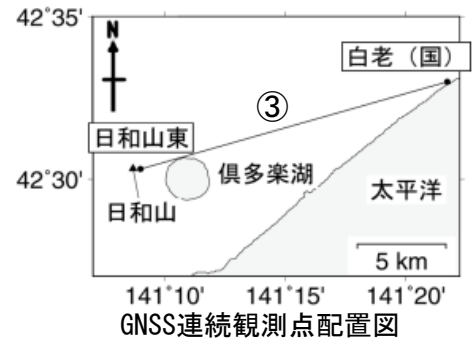


図 5 倶多楽 観測点配置図

- 広域図内の口は拡大図の範囲を示します
- +印は観測点の位置を示します
- 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
- (国)：国土地理院
- (北)：北海道大学